

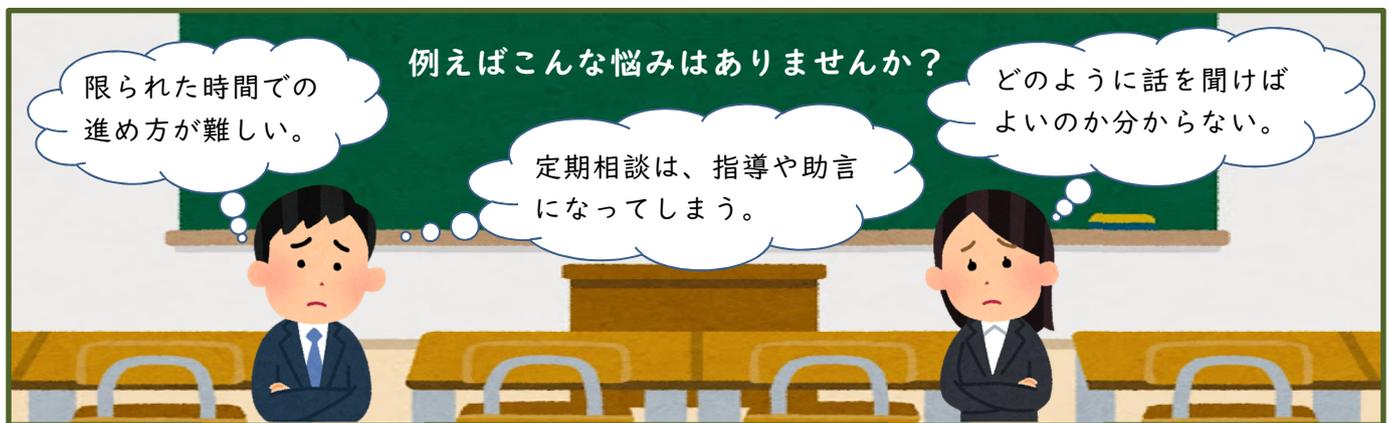
小・中学校における

子どもの安心につながる教育相談の充実に向けて

コンテンツ作成の趣旨

周囲にいる大人が子どもたちの声を受け止めることや、気軽に相談できる雰囲気をつくることの重要性が、国や佐賀県の法令等に挙げられています。また、文部科学省「生徒指導提要」には、「『定期相談』は、5分程度の面接であっても、継続することにより、『定期相談のときに相談できる』という安心感の形成と信頼関係の構築に効果的に作用します。面接に当たっては、受容的かつ共感的に傾聴することを心がけ、児童生徒理解に努めることが重要です。」と示されています。これらのことから、子どもの安心につながる教育相談の充実が必要であると考え、全ての子どもを対象に実施される定期相談において活用することができるコンテンツとして、「事前アンケート」と「リーフレット」を作成しました。コンテンツの作成に当たり、「解決志向アプローチ」*の考え方を取り入れています。また、この考え方を参考にした「定期相談における相談モデル」も紹介しています。

*：問題やその原因を追求するのではなく、解決に役立つ可能性のあるところや少しでも変わりうるところに焦点を当て、子どものもつ解決に向けての力を活用する考え方



コンテンツを活用してみませんか？

※ コンテンツは、それぞれ単独で活用できます。

事前アンケート

定期相談前に短時間で実施できるアンケートです。そのまま使える【ベーシック版】と、各学校で自作して使える【オリジナル版】があります。

リーフレット

定期相談を実施する際のポイントをまとめています。また、教育相談の校内研修等でも活用することができます。

※ コンテンツは、組み合わせて活用できます。

事前アンケート&リーフレット

事前アンケートを実施し、全員を対象とした定期相談を行います。事前アンケートの結果を踏まえ、問題や原因を追求するのではなく、子どもの資質や能力の伸長を援助する姿勢で相談に臨みます。その際、リーフレットを参考にしながら話を丁寧に聴くことは、子どもが「安心して相談できる」第一歩になります！



定期相談における相談モデルでは、子どもの更なる安心につながるができるように、定期相談の具体的な進め方を紹介しています。